

露朝協力に関する日米韓高級実務者共同声明（仮訳）

日米韓三か国は、ウクライナの人々の苦しみを長引かせ、複数の国連安保理決議に違反し、北東アジアと欧州の安定を脅かす、北朝鮮からロシアへの継続的な武器の移転を含む、北朝鮮とロシアの間の軍事協力深化を可能な限り最も強い言葉で非難する。

6月19日のウラジーミル・プーチン・ロシア大統領の平壤訪問中の「包括的戦略的パートナーシップ条約」署名により特に示された、北朝鮮とロシアのパートナーシップの進展は、朝鮮半島の平和と安定を維持し、国際的な不拡散体制を堅持し、ウクライナの人々がロシアの残酷な侵略に対して自らの自由と独立を守っている中で彼らを支持することに関心を有する者にとっては誰でも、重大に懸念すべきものである。

日米韓三か国は、北朝鮮が地域と国際の安全に及ぼす脅威に対抗し、情勢のエスカレーションを防ぐため、外交的協力及び安全保障協力を更に強化する意図を再確認する。

韓国及び日本の防衛に対する米国のコミットメントは引き続き強固である。

日米韓三か国はまた、対話の道は依然として開かれていることを再確認し、北朝鮮に対して、更なる挑発をやめ、交渉に戻るよう強く求める。